

協同組合 金沢問屋センター 告知板

理事会報告

- ▷ 7月
 - 3日 ①第2団地の町名を問屋町3丁目として申請することに決定。②北国新聞に求人中心の広告2ページ掲載を決定
 - 18日 ①A公園の防護柵について協議
- ▷ 8月
 - 18日 ①各委員会の所管事項について協議②A公園を改造することに決定
- ▷ 9月
 - 9日 ①各委員会の委員構成を総務委員会原案通り承認
 - 18日 ①総合見本市について協議

事務局だより

- ▷ 7月
 - 10日 河北台商校生徒164名団地見学
 - 11日 建設委員会公園美化について協議問屋町交通安全対策協議会、幹事会夏の全国交通安全運動について協議
 - 16日 北国新聞2ページに団地紹介広告掲載近代化研究会7月定例会開催
 - 18日 交通事故保険処理手

- 統説明会開催
 - 21日 厚生委員会盆踊り大会運営について協議
- ▷ 8月
 - 6日 団地内交通施設増設を県公安委員会へ要望
 - 8日 近代化研究会企画委員会設置について協議建設委員会第2団地幹線道路側溝ぶた設置、融雪装置自動スイッチ、防犯灯ペンキ塗りかえについて協議
 - 11日 各委員会の所管事項について協議
 - 12日 労務委員会労務管理講習会、女子社員研修会ビデオによる女子社員について検討
 - 21日 中小企業問題研究所長堀越昌幸氏を迎えて中小企業経営問題研修会開催
- 近代化研究会8月定例会、ビデオテープを使用Pドラッガー「経営者の条件」第2巻「エグゼクティブの貢献」を学習
- 25日 問屋町交通安全対策協議会、交通安全カレンダー作成について協議事業委員会、完成8周年記念総合見本市について協議
- 27日 各委員会の委員構成を協議
- ▷ 9月
 - 5日 建設委員会、第2団地防犯灯点灯時期について協議
 - 8日 近代化研究会幹事会

- 海外視察について協議
- 16日 近代化研究会9月定例会県青少年問題協議会委員徳野泰男氏を迎え「青少年問題について考える」を聴講
- 20日 厚生委員会、社員園遊会、ソフトボール大会運営を協議
- 22日 総務委員会、委員会委員名札掲示について協議
- 27日 問屋町交通安全対策協議会開催荒木前会長へ感謝状と記念品贈呈交通安全カレンダー配布
- 30日 労務委員会若年従業員の余暇指導座談会と電話教室の開催について協議
- ▷ 10月
 - 2日 厚生委員会開催
 - 8日 近代化研究会幹事会
 - 9日 総務委員会開催
 - 13日 建設委員会終末処理場の維持管理について検討
 - 15日 県婦人青少年室長坂井節子氏を迎え女子社員研修会開催
 - 16日 近代化研究会10月定例会竹松証券社長竹松俊孝氏を迎え「最近の経済状況」を聴講
 - 22日 問屋町交通安全対策協議会が東署より民間交通功労団体賞をうける
 - 27日 問屋町交通安全対策

協議会、幹事会10月25日～12月10日迄の期間県警で実施する死亡事故抑止Z作戦及び団地内違法駐車について対策協議

お知らせ

- 労務委員会では女子社員教育の一環として次によりビデオテープ使用による視聴覚教育を実施しておりますので多数御参加下さい。
- 場所 問屋町会館2階商談室。
- 時間 午後1時より1時50分
- 10月16日
 - 人と人とのつながり。電話と応対
- 10月23日
 - 仕事と生活設計。1日1日を大切に
- 10月30日
 - 己の成長をはかる。目標を明確に
- 11月6日
 - 仕事の目的と意味、あなたならではの仕事を
- 11月13日
 - 女子社員の役割、よりよい仕事の進め方
- 11月20日
 - 人と人とのつながり、電話と応対
- 11月27日
 - 仕事と生活設計、1日1日を大切に。

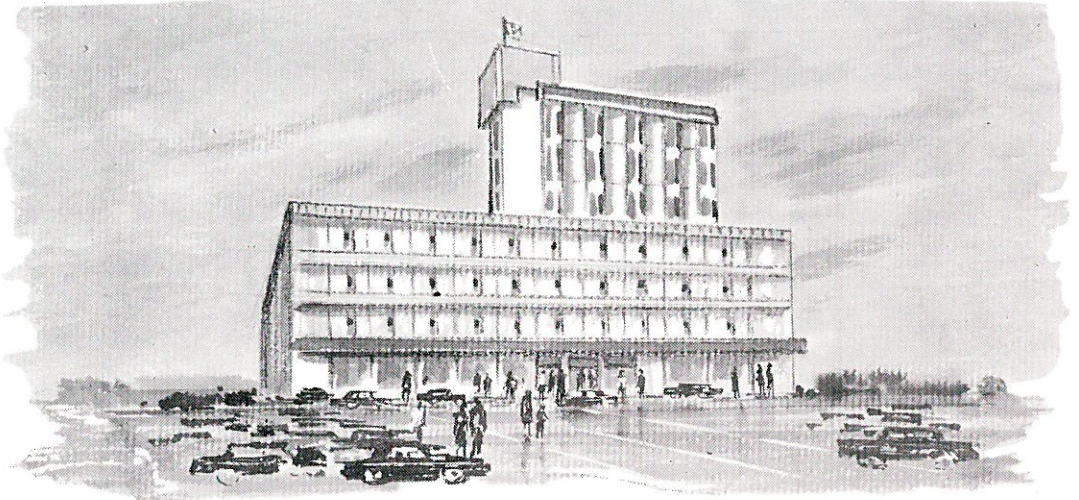
<編集後記>

3億円事件も、もう時効目前、松生丸事件も解決か、近い所で、兼六園の名花器、多数紛失、県警Z作戦もいよいよ大詰め、400年つづいたお寺さんの世界まで内紛、政府、年内解散か、年賀ハガキ、値上りが流れて、いよいよ発売、となればいやが上にも、もう年の瀬。
金沢問屋センターも、北陸流通経済の中心地として発展をとげて以来8年、組合活動もますます充実の一

途であります、今回新たに、この広報誌も、問屋センター広報委員会として新発足、コミュニケーションの場として、情報の管理、収集を行い、問屋センター全体の有機的機能の拡大をはかり、又、本号巻頭言に取上げた多目的ビル建設のように、問屋センターのビジョン作り、提言を通じて、組合員相互の理解と協力をもとめつつ問屋センター発展の一助となるべく、委員一同はりきっております。各位の進んでの投稿、助言をお願い致します。

協同組合 金沢問屋センター

第2号 1975年11月20日発行
協同組合 金沢問屋センター
発行人 小川 甚次郎
金沢市問屋町1丁目
電話 37-8585



問屋センター総合ビル予想図

多目的総合ビル建設について提言 協同組合 金沢問屋センター 近代化研究会

金沢問屋センターも発足後既に8年、その間順調なる発展をとげ今日を見るに至りました。更に本年度に入り第2団地の建設も着々として進行しつつある現状にあり、その完成時には規模と業容は益々拡充され、名実共に我国有数の商業団地としてその偉容を誇り、北陸圏流通機構の中核的存在として輝ける将来を約束されるものと期待されます。

かくの如き問屋センターの外面的な躍進の時期に当り内面的にもより充実した団地をつくり上げてゆく為には、組合員一同の一層の団結と和と連帯意識の高揚を図る事により組合としての精神的基盤の確立を求めると同時に、組合活動の活発化を図り組織としてのメリットを飽く迄も追求するという本来の目的に則って共同事業を従来以上に拡充してゆく必要があらうかと思われます。

現時点に於いても数々の事業が実行に移され相応の成果が収められて居りますが、今後は更に組合員多数の意向を反映し諸々の分野での共同事業や共同施設が計画立案され、必要に応じて実行されてゆく事であらうと思われます。そしてこれらの事業を通して組合員個々の経済的地位の向上が齎されると同時に、共同体としての問屋センターの基盤も益々強固になってゆくものと確信されます。

この様な現実にも則した着実な組合内部の共同事業の推進と共に、将来共限り無き前進が期待される問屋センターの一隅に、正に団地のシンボルとして又組合員相互の共同利益追求の場として更には又強固な団結力の具現化を求めて、この際多目的総合ビルの建設を構想する事は些か奇異に失する事でありましようか。これは又とりも直さず県・市の強力な産業政策と都市計画の一環である駅西開発とも関連し、周辺流通関連施設と密接に結び付く有利な立地条件の活用にも繋がり、更には又周辺地域社会に対する協調や貢献等当団地に求められるであろう社会的使命を果すという面から見ても意義のある事であると思われます。

かかる観点から問屋センターの意図する共同事業の一つとして、員内利用と共に周辺地域並びに員外不特定多数者の夫々に利用価値を齎す様な多目的総合ビルを団地敷地の一部に建設する事は将来的観測から見て一考を要するものではなからうかと思われます。

同ビルの具体的内容に就いては既に建設運営されている他団地の実状も参考として、よりメリットの大きいものを求め細部に亘り検討すべきものであり、又運営面に於いても共同出資の別会社組織や採算を考慮してテナント採用等の方法も考えられる事でありましよう。勿論現在の如き経済状況の下ではかかる計画を即実行に移すと謂う事は困難を極めるとは思われます、近き将来この様な事業が組合員各位の理解と協力の下で実行に移せられる様な気運が盛り上がるならばと期待し提言を行うものであります。

金沢問屋センター 完成8周年記念

特別販売大会 社員園遊会

金沢問屋センターでは完成8周年を迎えてこれを記念し、石川県、金沢市、金沢商工会議所後援で、10月8、9両日「完成8周年記念特別販売大会」を行った。当日は第1会場の間屋町会館には繊維同業会30社のほか百貨同業会10社も参加、特選商品を陳列、即売し多数の来客に非常な賑わいを見せた。

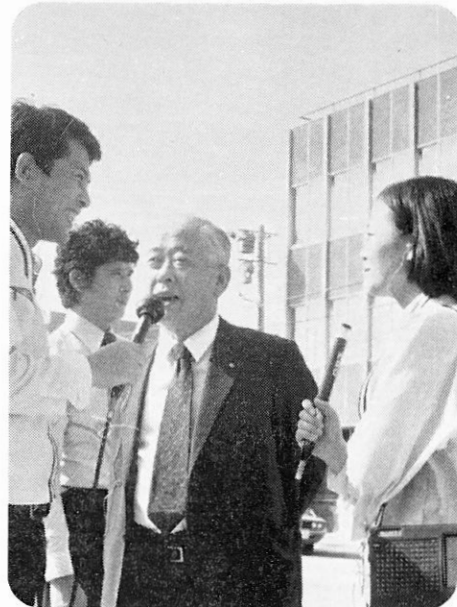
又、秋晴れのもと、恒例の社員園遊会が10月4日午後からにぎやかに開催された。当日は、公園の横通りを歩行者天国として、30数社から格安商品が提供され、活気のある販売が催された。歩行者天国には団地の商社員はもとより、近隣の主婦、子供達が多数つめかけて、開店早々10分間で品切れの札が出た果物や冬もの一掃1,000円均一セールあるいは、子供に手をひばられた親で店前がうずまったおもちゃ店など不況風を吹き飛ばすようなムードで各社ともまずまずの売れゆきだったようである。会場内ではコーラーの飲み放題でお客様にサービスするなど、まさに歩行者の天国。また会場内には交通遺児を励ます数々のチャリティ募金箱も設けられ、買い物客多数のあたたかい愛の手が差しのべられた。午後2時には、祭りのムードを一層もりあげるかのように、ハッピー姿も可愛い子供達の太鼓行列もくり出して、「日本列島ここが真中」でおなじみのMROラジオカーも中継に来て祭りの演出効果満点であった。



販売大会記念品引換場



販売大会会場



「えーそもそも問屋センターは」
日本列島ここが真中



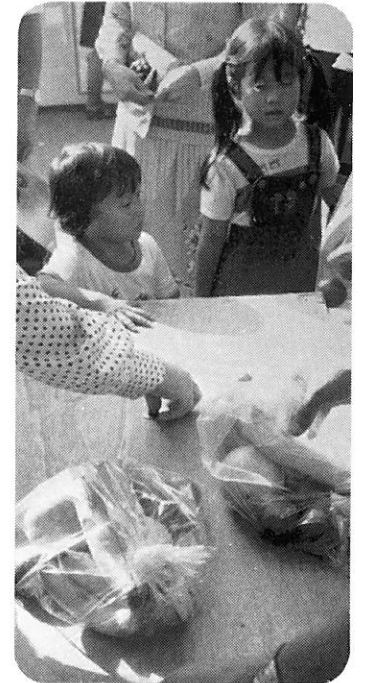
あっきんぎよさん



コーラー飲み放題



エーおつりは 500円



「おねいちゃん
おいしそうね」
くだもの販売



子供太鼓行列



「あーちかれたびー」

組織の拡充を図り……

◆◆企画開発・広報両委員会発足◆◆



積極的な アイデアを

企画開発委員会
委員長 伊藤 四郎

こんど問屋センターに新しく企画開発委員会を設けられることになり、不肖私はその委員長を仰せつかりました。もとより愚鈍な私ですのでも適役とは思えませんが、幸い委員の皆さんは何れも良識あるベテラン揃いなのでこれ等の方々のご協力を得て、なんとか前向きな運営を計ってゆきたいものだと考えております。

さて、私達の当面する問題としては、いま話題の集会場兼体育館の建設があげられます。ご承知のように現在の会館ホールは既に8年目を過ぎたいまでは如何にも手狭で、つい先日行われた8周年記念販売大会では会場前にテント張りをしてハミ出し分を補った程度でした。これでは社員の大半が参加して行こうとする行事も出来ませんし、各社の展示会、発表会等を行うにはあまりにも窮屈です。又、問屋センター開設以来からの懸案となっています体育館はこの際、各社各員の体位向上は勿論、親睦を一そう深める意味からも取りかかりたいものの一つであり、これ等のことから1、室内スポーツ競技、2、各種展示場、3、集会場以上3つの機能を兼ね備えた総合建物が来るべき10周年を控えた今日、是非とも必要であるばかりか、このことはむしろ遅きに失した感すらあるのであります。

無論、これには敷地、所要資金、又完成後に於ける維持管理の問題等当然つき纏いますので、これ等を含めて目下、あらゆる角度から検討中でありますが、組合員の皆様からもこの際、良いアイデアなり積極的なご意見をお寄せいただければまことに幸いです。

何分にも不況の折から、建設業界等、特に苦悩の色が濃いようですが、反面、こういう際こそ実行に移す絶好のチャンスとも考えられます。

尚、この外に木越団地に於いて社員用住宅、33戸分の分譲をこのほど完了しました。

以上簡単ですが、ご挨拶をかね、ご報告申し上げます。



情報管理による 近代的組織に

広報委員会
委員長 荒木 登

交通安全対策協議会会長を井上さんにお願いした処、企画開発と広報委員会が新しく設置された事により、小川理事長さんより、広報を担当せよとの事で全く素人の私ですが宜敷しく御願います。

借問屋センターの歴史的発展と共に組織拡大化がなされた今日、会員間の人格的、場所的、コミュニケーション的の隔離が、より顕著になってくる問屋センターとしての性格を多様化しない効果的な結び付けの役割を重要視して調整する事の必要性は、今更申上げるべきではないが、特にコミュニケーションと共に人格的隔離を調整し、その活動母体を重要機能にすべきだろうかと思っております。

既に問屋センターの会員として、スケールメリットを追求し、相互繁栄を期待し続け、その潜在意識の中に情報を提供し、共同の発展を願って来た訳ですが、更に内部要因と共に外部要因のミックスによる活動を通じ情報管理による近代的組織に発展しなければなりません。又その情報システムを考えると①理事会の意思決定に役立つものである事②情報の規則的計画的な流れを創造するものである事③人間、機械、時間、空間方法並びに統制の相互作用的システムである事に集約されるかと思っております。そして又情報の流れはフォーマルとインフォーマル情報があり、共に垂直と水平的情報に結ばれると考えれば、斯うした混然とした中に調整され、問屋センター全体の有機的機能として可能性を追求し度いものだと思います。又その基本的な重要要素は和であり会員全員の団結と協力は必要絶対条件と思われれます。

最後に情報管理の方向は、あく迄も会員志向であらねばならない訳であり、情報収集によってより良き意思決定への方向付けが出来なければなりません。今回新しい組織作りがなされ、会員全員の組織の中にその参画意識と共に全体意識向上の組織化が出来た訳であり、情報革新より始めて問屋センターが着実に発展される様を願います。

若い力を結集 近代化研究会に参加して

働東山商会 専務 道上 明

私が近代化研究会に加入するようになったのは3年前、組合主催で金沢工業大学、山口教授による『物流』という講演会に出席したのがきっかけではなかったかと思っております。

その後近代化研究会が設立され、2つの大きな目的を持って運営されております。

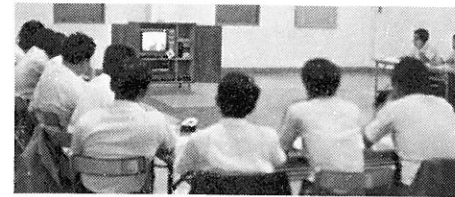
その第一は組合員各企業の発展、繁栄であります。現在の減速経済下であって我々経営の第一線にいる者が如何に対処すべきか。

労働生産性の向上、合理化、労務等々多くの問題で勉強をする必要に迫られておりますが研究会ではゲスト講演、ビデオテープによる経営講習会、あるいは又先進商業団地への研修旅行等を行い、会員相互の親睦はもとより、単的に申し上げて『如何にして儲けるか』を主題に研鑽を重ねております。

その第二は金沢問屋センターの近代化、発展であります。

私も近代化研究会に入会する迄は、組合運営に関してはノン・セクトと申しますか、むしろ批判勢力だったのではないかと感じております。

現在でも尚執行部に対する批判も多いやに聞いておりますが、唯批判をするだけでなく、諸先輩の大変なご努力でもって現在の金沢問屋センターが出来、今後の組合運営は益々困難な問題が幾多出てくると思いますが、これを克服し、将来のビジョンを作り、組合員各企業の発展はもとよりのこと、我々若い力を結集し、尚一層の繁栄を計るべく、組合運営にも、どしどし全組合員が参加し努力すべきではないでしょうか。



問屋町商和クラブだより

発足以来この12月で満2年を迎える商和クラブ既に皆様とも、おなじみの当クラブの近況をお知らせ致します。

夜のひととき夕食を共にしながら四方山話に昼の商談を忘れて話に花が咲き 楽しき笑談の続く月例懇談会をはじめ、年に1度の会員家族ぐるみのバス旅行、今年は8月23日の「かもめで佐渡へ」が折悪く台風6号の影響を受け、急ぎょ先行変更して翌24日越前海岸探勝と片山津温泉のコースと相成り、当日は台風一過快晴に恵まれ午前9時会館前を出発して北陸自動車道を南進……やがて越前海岸に到着、有名な呼鳥門の由来等ガイド嬢の美声に聞きほれつつ楽しい車内福引大会等子供達も大はしゃぎのバス旅行でした。

前号で既報の如く謡曲部の夏季練成会も首尾よく終り、只今来春の発表会?を目指して精進中……

是非当クラブに御加入頂き更に近隣の融和と親睦を密にして明るく楽しい町作りを致したいと思っております。

社会人としての 知識と教養を

新入社員研修を担当して

労務課長 大橋 賢正

学卒新入社員教育は毎年採用された個々の企業においても実施されておられるでしょうが組合として採りあげ、実施する教育の基本は全企業が要求される共通の知識と社会人としての教養を主眼としており、ご承知のとおり毎年2回実施いたしておりますが、1回目は4月上旬で受講者数も多いのですが、2回目の実施には毎年受講者数が少く、その原因はおそらく実施時期が再検討されるべきであると考えられ、本年度は従来どおり4月上旬とし、第2回目は期間を隔てないで5月上旬とすればこの時期は未だ各企業では受講に参加させやすいのではなからうかと、労務委員に計ったところ異議なく決定されたので、第1回の研修を終了と同時に国立、県立両青年の家へ入所予約の問い合わせをしたところ、県立は5、6月満員。国立も5月は入所数の余裕なく、6月は50名までなら余裕ある日が残っているということで先方の日程に合わざるを得なくなり27日、28日と決定したが結果は29名という少い受講者となってしまった。執行部担当の私にとっては必要経費は50名も20名を同じであり、より多くの受講者があれば願いながら申込締切日を待つのですが、予想外に少いと委員会へ計った企画内容・講師の選択等に不足があるのではなからうかと、研修当日になるまで準備をすすめながら反省の繰り返してある。

委員会の方々のよりよき助言とあたたかなご支援に支えられながら来年度の立案こそ委員の方々に煩わしい負担をおかけしないようにそして皆さんの期待に応えられるようにと思いつつ研修企画の立案の時期になると業務を離れて帰宅しても、このことが脳裡から離れず教育事業計画のむつかしさ、ことに講師選定の悩みが痛感されます。

交通安全に グリーンパイ運動を



問屋町交通安全対策協議会

会長 井上 三郎

問屋センター完成後約8年間の永きに亘り、数多くの功績を残された前会長の荒木登氏のあとを、その任でない事を重々承知しつつも、お引受け致した次第です。

幸い私共問屋町交通安全対策協議会の役員、並に各社の安全運転管理者の皆様の暖かい御支援に依り色々対策を講じている次第です。

交通問題は、如何に優れた組織運営・対策等を講じましても、要は各社の運転者の皆さんの交通ルールを守る自覚と、モラルの向上以外に、道は無いものと信じます。

本年の当会の基本方針と致しまして、「無事故地域宣言」を高らかに掲げると共に、その対策を、役員会で十分検討し、実施に移りました。10月1日より「グリーンパイキャンペーン」し、各社に、グリーンパイの交通カレンダーを配布されているのがそれです。

これの主旨は、各社の運転者の皆さんに全員参加いただき、各自が交通ルールをよく守り、事故を絶対起さない自覚を植えつけ、皆んなで今日も無事故で良かった事を喜び合い、更に明日も、明後日も、延々といつ迄も毎日緑色でカレンダーがぬりつぶされてゆく事を願ったものです。

皆さん私共の意を御理解され、御協力賜わり度くお願いします。
更に当会としまして、不幸にして事故が発生した場合に於ける処置の取り方に関する勉強会や、運転者の皆さんを対象に、交通刑務所の実態、事故の発生が、個人、家族、企業に、如何に不幸な結果を招くかを、知ってもらうための、映画等を企画し準備を進めて居ります。

当会の意、並に実際の活動等を御被れき致し、一層の御協力をお願いし、就任の御挨拶と致します。

問屋町派出所だより



団地内治安警備について

巡查部長 塩崎 孝一

私が今年の3月10日に問屋町派出所へ赴任して来たのですが、当時は北国銀行問屋町支店の強盗未遂事件が発生した直後でありまして、その節は皆様方大変御心配や御迷惑をおかけしましたが、此の事件も皆様方の御協力により発生後15日目に犯人を逮捕することが出来ました。

それ以来約8ヶ月間御蔭様で此の間屋町には大きな事件や事故もなく平穏な毎日が続いております。
しかし石川県あるいは全国的な犯罪をみてみれば、思わぬ所に思わぬ事件や事故が発生しております。このことに関しては皆様はすでに新聞やテレビ等のニュースでよく御存じのことと思います。

此の間屋町にもいつの様な事件や事故が発生するか分かりません。

それで皆様をお願いしたいのは「問屋町は、あるいは金沢は平穏無事だから……」等と思わずに、今後も此の平穏な毎日を持続する為に、より以上に事件や事故を起さない様、1人1人が充分注意していただくと共に、警察の諸活動に対し協力をお願いしたいのです。

今警察で1番頭を悩ましているのは、刑事警察では、極左暴力集団や爆弾マニア等による爆破事件、暴力団等の凶器使用犯罪、それに侵入盗犯を初めとする各種窃盗事件の多発であり、交通警察では、死亡事故の多発です。

金沢市内では爆弾事件こそ発生していませんが、内ゲバ事件や暴力団等の凶器使用犯罪はもちろん、路上で車のエンジン騒ぎから店員(22才)が会社員をナイフで刺し重傷を負わすという事件が発生しております。窃盗事件も問屋町周辺で多数発生しております。交通死亡事故は全国的には減少しているのですが、石川県は昨年より増加しており、その増加率は全国で第4位だそうです。

警察ではこれら事件や事故を防止するため、今後凶器発見等を目的とする夜間検問を多く行います。
お急ぎの場合が多いと思いますが、交通検問に是非ご協力をお願いします。

又死亡事故抑止の為10月25日から12月10日までの間、特にプロジェクトチームを編成して取り締まりを強化しておりますので、皆様は違反や事故を起さない様をお願いします。

私が問屋町派出所へ来て特に感じたことは、問屋町は昼の人口は約3,800人で夜間の人口は約290人です。商店や各種会社・事業所は138社位あり、その内夜間当直の居ない所は相当数あるということです。

今までの窃盗事件は現金を目的とするものが主でしたが、今後不況が続くと品物を主とするものが増える可能性があります。

そうすると夜間警備が手薄で品物の多い問屋町が泥棒に狙われやすいと思います。今一度自衛警備を考える時期ではないでしょうか。

又交通面では駐車違反車輦が多いことです。問屋町は金沢市内で一番道路形態の良い所であり、現在駐車禁止場所として指定されておきませんが、特に歩道上駐車、斜め駐車等が目立ちます。今後此の様な違反車輦は取り締まりを厳しくいたしますので、法律に定められている正しい方法で駐車していただく様をお願いします。

問屋センター 厚生福利事業

野球・ソフトボール・麻雀
盆踊り・ダンスパーティ

組合では厚生福利事業として各種行事を催してはいますが50年度事業のうち野球大会、ソフトボール大会、盆踊り大会、麻雀大会が終了しました。いずれの行事も、沢山の社員、家族が参加し親睦を深めました。結果は次の通りです、尚12月19日にはダンスパーティーを計画しておりますので、多数御参加下さい。



盆踊り大会

明 希	5-3	奥 村
3回戦	伊藤洋品	12-3 丸 昌
	石川県米	10-3 北日商事
	北陸通信	1-0 辻 茂
明 希	6-5	丸与商事
準決勝	石川県米	6-5 伊藤洋品
	北陸通信	2-1 明 希
決 勝	石川県米	4-2 北陸通信

- 成績
- 優 勝 石川県米穀(初)
 - 準優勝 北陸通信工業(株)
 - 第3位 伊藤洋品(株) 明希(株)
 - 最高殊勲選手賞 津田選手(県米)
 - 敢闘賞 長原選手(北通)
 - 打撃賞 津田選手(県米)

◇ 第1回 ソフトボール大会 ◇

10月10日・12日
参加25チーム



優勝チーム共栄電機(株)

2回戦	共栄電機	4-1	北村電機
	小川商事	16-5	久 江 田
	丸信丸岡	8-7	辻 茂
	石川東芝	9-8	金沢グンゼ
	島 崎	9-8	山 和
	丸 昌	18-7	たなかや
3回戦	共栄電機	3-2	小川商事
	石川東芝	6-5	島 崎
	丸 昌	不戦勝	北陸通信
準決勝	共栄電機	6-1	丸信丸岡
	石川東芝	3-0	丸 昌
決 勝	共栄電機	6-5	石川東芝

- 成績
- 優 勝 共栄電機(株)
 - 準優勝 石川東芝商品販売(株)
 - 第3位 丸信丸岡屋商店 (株)丸昌
 - 最高殊勲選手賞 西島選手(共栄)
 - 敢闘賞 戸田選手(東芝)

◇ 第5回 麻雀大会 ◇

6月22日(日)開催
108名参加

優勝者にカラーテレビが、又40位迄豪華景品が渡されました。上位10名は次の通りです。

優勝	丸昌	多田 裕	1130百点
2位	森佐(株)	高島 吉雄	976百点
3位	松本紙店	大野木義人	814百点
4位	大沢商店	大沢 銜人	745百点
5位	久江田(株)	久江田紀雄	683百点
6位	寺本繊維(株)	寺本 孝夫	616百点
7位	事務局	長田 長作	473百点
8位	田村勝治商店	村中喜久則	472百点
9位	須田(株)	米村 久嘉	472百点
10位	東和工業(株)	北市 武	461百点

◇ 第8回 商社対抗野球大会 ◇

6月9日~8月2日
参加34チーム

2回戦	丸 昌	10-0	島 崎
	伊藤洋品	不戦勝	森 佐
	北日商事	12-11	金沢機工
	石川県米	1-0	石 織
	辻 茂	2-0	越井商事
	北陸通信	8-8	石川東芝 (抽選勝)
	丸与商事	不戦勝	北村電機
明 希	18-2	田村商店B	
石川県米	6-1	共立電機	